



かほく市制施行
20周年記念

議会かほく

vol.81
2024.2.1

審議された議案など
討論
一般質問（8人）
常任委員会レポート
視察研修レポート
議会日程

2
3
5
14
18
20



もう一つの立志式（説明は裏表紙）

第81号 発行日／令和6年2月1日 編集／かほく市議会広報特別委員会

ホームページ <https://www.city.kahoku.lg.jp>
発行／石川県かほく市議会 住所／石川県かほく市宇野西二丁目番地

Eメール sikaiecity.kahoku.lg.jp
076-(0603)7126 FAX 076-(0603)7188

令和6年 第1回かほく市議会定例会のお知らせ（2/22～3/14）

日	月	火	水	木	金	土
				2/22 初日 10:00 本会議 (議案説明ほか) 全員協議会 予算決算常任委員会	23	24
25	26	27 13:30 議会運営委員会	28	29	3/1	2
3	4	5 議会運営委員会 10:00 本会議 (一般質問) 広報特別委員会	6 10:00 本会議 (一般質問)	7 9:00 地域文教常任委員会 地域文教分科会	8 9:00 総務建設常任委員会 総務建設分科会	9
10	11	12 13:30 予算決算常任委員会 議会運営委員会	13	14 10:00 本会議 (討論、採決ほか) 全員協議会		

表紙のお話し

指江区に伝わる珍しい伝統行事「盤持ち」が行われました。

14歳（中学2年生）の男子が保護者・区民の前で、四斗俵（60kg）を肩にかついで力量を示します。

もともと、近年は、60kgはさすがに難しく30kg、50kg、60kgの3つの俵が用意されます。

この儀式を通過することで一人前と認められ、区役の際も大人同様の報酬が支払われ、また、青年団への入団も認められます。

まさに「もう一つの立志式」と呼べるのです。

(H. I.)



※議会だよりは、国会図書館にも送付されています。

令和6年能登半島地震により被災された皆様へ

令和6年1月1日、能登地方を震源に発生したM7.6（最大震度7）の地震により、犠牲となられた方々に、謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

当市におきましても、一部地域での避難所生活や余震が続く、不安な日々が続いていることと存じますが、皆様の安全と一日も早い復興を衷心よりお祈り申し上げます。

市議会としましても、引き続き、被災された皆様に寄り添い、執行部と共に力を合わせて一刻も早い復興に取り組んでまいりますので、御理解と御協力のほど、よろしくお願いいたします。

かほく市議会

広報特別委員会

委員長 塚本 和子
副委員長 猪村 博靖
委員 長柄 裕
池田 義治
中川 康弘
丸井 一範
杉本 正一

マチイロ



「議会だより」を
スマホで読む！

※印刷コスト 1部 38円（発行部数 12,700部）

2024.2.1

20

定例会

一般質問

常任委員会

研修レポート

議会日程

〔市長提出議案（人事）〕

諮問番号	議案名等	上程 議決日	議決結果
諮問第3号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて ・吉田 陽子 委員の任期満了に伴い、田中 千津 氏を新たに推薦するもの	11月28日	適任 (全会一致)

〔議会提出議案〕

発議番号	議案名等	上程 議決日	議決結果
発議第5号	学校給食費の無償化制度の構築を求める意見書について	12月14日	原案可決 (全会一致)

※発議の内容については、4ページに掲載しています。

〔選挙〕

選挙番号	議案名等	選挙日	選挙方法
選挙第4号	かほく市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙 【選挙管理委員会委員（4人）】 松井 廣（内日角）、谷口 裕（夏栗）、 広田 正俊（遠塚）、架谷 一美（高松） 【選挙管理委員会委員補充員（4人）】 田中 一良（木津）、折戸 靖幸（高松）、 川崎 健二（白尾）、谷口 孝三（鉢伏）	12月14日	議長による 指名推選

議決結果で賛否が分かれた案件

議案番号	議案名等	議員名（議席番号順）												
		長柄 裕	池田 義治	中川 康弘	塚本 佐和子	野田 稔彦	大西 潤	丸井 一範	金子 猛	坂井 正彰	高橋 成典	杉本 正一	竹内 幹雄	杉本 成一
議案第62号	令和5年度かほく市一般会計補正予算（第10号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議案第76号	かほく市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議案第77号	かほく市常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○

※ ○＝賛成 ×＝反対 欠＝欠席 退＝退席 杉本成一議員は議長職のため採決には加わりません。

討 論 議案・発議に対して討論

「討論」って？
議案に対する
「賛成」「反対」
の旨とその理由を
述べて、他の議員
を自己の意見に賛
同させることを目
的とする発言です

長引くコロナ禍や食料品等、
物価高騰の影響により、経済的
に苦しい状況にある保護者も多
く、今こそ無償化が切に求めら
れている。
学校給食の無償化を実現する
ため、国へ必要な予算措置を講
じるよう強く求める。

食料品をはじめ物価高騰が暮
らしを直撃。
年金は下がり続けており、こ
うした状況下では引き上げる環
境にはない。

議員と市長はじめ三役の
期末手当0・1カ月の引
き上げに反対

高橋 成典

審議された議案と審議結果

〔市長提出議案〕

議案番号	議 案 名 等	委員会 付託先	議決結果
議案第60号	専決処分の承認を求めることについて （令和5年度かほく市一般会計補正予算（第8号））	予算決算	原案承認 （全会一致）
議案第61号	専決処分の承認を求めることについて （令和5年度かほく市一般会計補正予算（第9号））		
議案第62号	令和5年度かほく市一般会計補正予算（第10号）		原案可決 （賛成多数）
議案第63号	令和5年度かほく市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）		
議案第64号	令和5年度かほく市介護保険特別会計補正予算（第1号）		
議案第65号	令和5年度かほく市水道事業会計補正予算（第3号）		
議案第66号	令和5年度かほく市下水道事業会計補正予算（第1号）		
議案第67号	かほく市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	総務建設	原案可決 （全会一致）
議案第68号	かほく市印鑑条例の一部を改正する条例について	地域文教	
議案第69号	かほく市こども屋内運動施設条例の一部を改正する条例について		
議案第70号	かほく市墓地条例の全部を改正する条例について	総務建設	
議案第71号	かほく市火災予防条例の一部を改正する条例について		
議案第72号	公の施設の指定管理者の指定について		
議案第73号	字の区域及び小字の名称の変更について		
議案第74号	市道の路線認定について		
議案第75号	令和5年度かほく市一般会計補正予算（第11号）	予算決算	
議案番号	議 案 名 等	上程 議決日	
議案第76号	かほく市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	12月14日	原案可決 （賛成多数）
議案第77号	かほく市常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		
議案第78号	かほく市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決 （全会一致）
議案第79号	かほく市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について		
議案第80号	かほく市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について		
議案第81号	かほく市手数料条例の一部を改正する条例について		

※議案の主な審査内容については、14ページ以降の各常任委員会レポートに掲載しています。

意見書

学校給食費の無償化制度の構築を求める意見書

文部科学省による調査結果によると、全国1740自治体のうち何らかの形で学校給食の無償化や一部補助を実施しているのは506自治体あり、そのうち小中学校ともに無償化を実施しているのは76自治体にとどまっている。

食料品等の物価高騰の影響により、経済的に苦しい保護者も多く、今こそ無償化が求められるが、財政余力が乏しく無償化の実施が困難な自治体も多いため、国内全ての学校で無償化を実現するには、国の関与が必須である。

よって、国におかれては、学校給食の無償化を実現するため、主体となつて必要な制度を構築するよう強く要望する。

提出議員 坂井 正毅
賛成議員 杉本 正一

金子 猛
大西 潤
野田 稔彦
中川 康弘
(全会一致)

議会と意見交換しませんか

議会では、市民の皆様と自由に情報及び意見を交換することによって、市政のさらなる発展、議会の活性化を目指し、議会報告会を開催しています。
議会との意見交換をご希望される団体等、お気軽にご連絡下さい。

【問い合わせ先】 かほく市議会事務局
電話 283-7126

「意見書」って？

議会が地方公共団体の機関としての議会の意思を意見としてまとめた文書のこと、関係行政庁に提出することができるんです



にゃんたろう

一般質問

あなたの声を市政に

各ページの「QRコード」をスマートフォンなどで読み取ると、一般質問を動画でご覧になれます。

※機種によりご利用いただけない場合があります。
※視聴にかかる通信料等の費用は、ご自身の負担となります。
※動画の保存期間は、概ね1年間です。

ページ	質問事項	質問者
5	令和6年度予算における基本方針について ほか	大西 潤
6	ゴミの持ち去りについて ほか	塚本佐和子
7	北陸新幹線延伸に伴う、観光客誘致について ほか	丸井 一範
8	クールビズ・ウォームビズの通年化について ほか	長柄 裕
9	入札制度の現状と改善策について ほか	高橋 成典
10	省エネ（LED化事業）の取り組みについて ほか	野田 稔彦
11	AEDボックスへの三角巾の配置について ほか	池田 義治
12	市長の6選出馬について	猪村 博靖

一般質問

議会映像QRコード



おおいし じゅん 大西 潤

岸田首相が所信表明演説で

掲げた「マイナンバーカードの早期普及」「デジタル田園都市国家構想」などを踏まえ、令和6年度当初予算における予算編成の基本方針、方向性はどのようなものなのか。

A 市長 重点分野として、第2期かほく市創生総合戦略推進計画の最終年度にあたり「安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする」「新しいひとの流れをつくる」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「安心して暮らすことができる、魅力あるかほく市をつくる」「オンラインワンの資源を活用し、活性化の拠点をつくる」の5本柱で予算編成する。

質問 1

令和6年度当初予算における基本方針を示せ

重点分野の5つを柱として予算編成に取り組む

国の補助金を利用したマイナンバーカードの休日交付窓口を大型商業施設に設置したほか、デジタル田園都市国家構想交付金を活用した防災アプリの開発を行っている。

さらに、国の交付金を活用し、「あそびの森かほく」の隣に賑わい創出施設「つどいの森かほく」のプラス」を整備する。今後もマイナンバーカードの普及促進

や、各種施策に引き続き取り組み、市民サービスへの向上に努めていく。



つどいの森かほくプラス外観イメージ

また、国の低所得者支援や物価高騰対策を中心とした経済対策に基づき、本市においても補正予算の編成を行う。

質問 2

7月の豪雨による災害復

旧工事の進捗状況は

特別の財政援助措置を受けて取り組んでいる

Q 令和5年7月12日の線状降水帯による集中豪雨で被害が発生した。

復旧工事の進捗状況は。

A 市長 国から8月末に激甚災害の指定を受け、災害復旧事業に関する特別の財政援助措置を受けて取り組んでいる。

工事の進捗状況は、都市建設課所管に係る被災箇所数72件、農林水産課所管に係る被災箇所



西山柿団地内の被災箇所

数225件、その内60件が国の災害査定を経て、工事の進捗を図っている。

また、国の補助対象外となり市の単独事業として実施する復旧工事は、今年度内の完成を目指し復旧工事を鋭意進めている。被災箇所の一刻も早い現状回復を目指し、引き続き地元の皆様と調整を図りながら、しっかりと復旧事業に取り組んでいく。



丸井 一範

Q 令和6年4月から、かほく市総合体育館がオープンし、P F Uブルーキャッツのバレーボールの試合が予定されている。スポーツによる交流人口の増加、地域社会の活性化のために、市民を無料招待してはどうか。

A 教育部長 チケットの割引や無料招待については、主催者であるP F Uブルーキャッツが独自の施策として展開していることから、市が直接招待することについては考えていない。

プロスポーツ選手の躍動を間近で体感できるということは、未来を担う子供たちにとっても大変有意義で貴重な体験となることから、子供たちに対し何らかの支援を検討する。

質問 1

ブルーキャッツの試合に無料招待しては
子供らに対し何らかの支援をする



完成間近の市総合体育館

質問 2

北陸新幹線金沢～敦賀間の開業に伴う対応は
本市の魅力を積極的に発信していく

Q 令和6年3月16日に北陸新幹線が敦賀まで開業される。

それに伴い、多くの観光客が北陸を訪れると思うが、能登への観光客が減少することも考えられる。

加賀・能登をつなぐ拠点として本市の観光客誘致に向けた取り組みは。

A 市長 西田幾多郎記念哲学館において、初めて観光物産協会主催によるイベント「哲學夜市」を開催したところ、市内外はもとより県外からも多くの方々が来場した。

また、道の駅高松についても、現在、里海館のリニューアル工事に着手しており、市の情報発信の拠点としてさらなる機能強化に努める。

都市圏からの観光客誘致に関



初めての哲学夜市

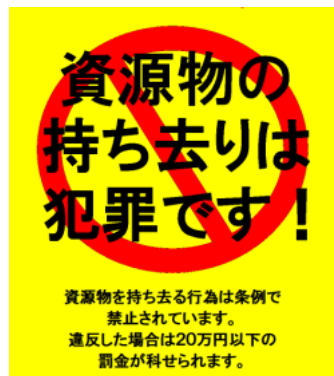
しては、石川県や石川中央都市圏など広域で取り組むことが効果的であると考えており、今後、関係機関と連携し、各種誘客イベントなど積極的に参加していく。



塚本 佐和子

Q コミ収集所（また戸別収集）に出された燃えないゴミが、第三者の手によって、勝手に持ち去られてしまうということが起きている。

持ち去りを防ぐため、一部の自治体では、ゴミの持ち去りを禁止する条例が制定されている。本市の燃えないゴミの持ち去り事案の件数は。



持ち去りを禁止する条例制定を

質問 1

燃えないゴミ持ち去り問題の解決策は
持ち去り禁止条例の制定を視野に入れ調査する

A 市長 これまで複数の町会・区から持ち去り事案があったとの情報提供はある。

Q 資源ゴミ、不燃物ゴミなど持ち去りを禁止する条例の制定を求めるが市の考えは。

A 資源ゴミなどの持ち去りを禁止する条例の制定を視野に入れ、抑止効果が持続する取組について、今後、調査研究を行う。

質問 2

消防本部の現状と課題は
救急出動件数が増加

Q 消防職員は、救急患者の搬送や火災時の消火活動、安全業務の管理や予防活動に加え、近年の救急需要に対応するための救急救命士の養成など、多岐にわたる消防活動に努めている。

①救急の現状と課題は。

②災害、救急の多様化により現在の消防職員の定員数で十分な状態にあるのか。

③今後、女性消防職員の増員を考えているのか。

A 消防長 ①救急出動件数の増加が著しい。増加の要因は、発熱や熱中症、高齢者の急病などがあり、緊急性がなく救急要請されるケースも増加している。救急車を真に必要としている方が適切に利用できるよう、救急車の適正利用を広報、啓発活動に努めていく。

②現在、消防本部の職員数は55名。そのうち3名を、金沢市消防局内に設置された消防指令センターへ派遣している。災害対応のさらなる充実を図るため、令和6年度に新たに5名程度の



救助隊員による水難救助訓練

職員採用を予定している。

③総務省消防庁は、全国の消防職員に占める女性職員の割合を令和8年度当初までに5%となるよう目標値を示している。

初めて消防職員就職説明会を開催するなど、女性職員の採用に向け積極的に取り組んでいる。



ながら ゆたか
市長 裕

Q かほく市がリーダーシップを取ってクールビズ、ウォームビズの通年化を実施せよ。

A 総務部長 国では令和3年度からクールビズ、ウォームビズの一律での期間設定を取りやめ、一人一人が気候等にに応じて服装の選択をするよう呼びかけている。

石川県においても令和5年5月より公務員としての品位を損なわない範囲で職員個人の判断による服装の柔軟な選択を認め、1年を通じて働きやすい服装で執務を行う取組を始めている。こうした状況を踏まえ、市としては社会情勢の変化などにより、脱炭素化・ライフスタイルの多様化・業務の効率化などの

質問 1

クールビズ、ウォームビズの通年化を実施せよ

津幡町・内灘町と協議し検討する

観点から、職場での働きやすい服装については検討すべきと認識している。

職員の軽装勤務の通年化については今後、他の自治体の動向を注視し、津幡町・内灘町と協議し検討をする。



クールビズ・ウォームビズを通年に

質問 2

令和5年7月豪雨による

長柄用水の復旧状況は

令和5年度末までに完了する

Q 令和5年7月豪雨による旧高松地区における長柄用水の復旧計画は。

A 市長 復旧工事の状況は、被災箇所のうち特に被害の大きかった取水口付近の3か所は、国の災害査定を終え、現在、復旧工事の発注手続を行っており令和5年12月下旬には施工業者が決定する見込み。被災規模が小さい11か所は、復旧工事の発注を終え、順次復旧が完了している。

長柄用水の復旧時期の見込みは、用水路全体の復旧工事は令



豪雨で被災した長柄用水

和5年度末までに完了させ、令和6年春の田植時期までに通水が可能となるよう工事を進めている。

しかし、冬期間工事のため工事進捗が遅れが生じる場合、令和6年春の耕作に支障なきよう迂回水路を設置し、必要な用水の確保に努める。

質問 1

入札制度の問題点と改善策を問う

変動型最低制限価格制度を導入する

22年度の食料自給率はカロリーベースで38%である。

①県内の農業就業者数は、2020年までの5年間で約2万人減少しているが、市の実態は、②県と19市町が共同で「環境負荷低減事業活動の促進基本計画」を策定し、2025年度までに環境保全型農業の取り組み目標を掲げている。市の有機栽培に該当する農家数と目標を問う。



食料自給率向上を

A 産業建設部長 ①市の農業

者数2015年は667戸が2022年度は477戸、5年間で28・5%減少。
②市内では10名。目標は特に定めていない。現在、約41ヘクタールの農地で、環境保全型農業に取り組んでいる。

質問 3

防災無線の現状と課題は

課題解決のため調査する

Q 防災無線の課題や問題点、施設の更新は。スマートフォン

の活用や、AM・FMラジオの活用について問う。

A 地域政策部長 防災行政無線の課題を克服するため、高性能スピーカーなど新たな技術の導入を視野に入れ、機能強化のため調査研究をして行く。

防災アプリは2024年4月



合葬墓完成イメージ

から本格運用を予定している。

質問 4

無縁遺骨の対策は

先進地の事例を研究する

Q 「引き取り手が見つからない」など無縁遺骨の問題が全国各地で起きている。

市の今後の対策を問う。

A 健康福祉部長 市民の安全と尊厳を守るため、現状を把握しながら、国の動向も注視し、先進地の事例を研究して行く。



公共施設のAED

Q AED設置箇所、耐用期間と点検、使用状況は。

A 健康福祉部長 市内の公共施設に61台設置。

耐用期間は、6年～8年程度。点検は、毎日自動で内部チェックし、使用可能であるかの表示を職員や指図書者が、日々チェックを行うこととしている。

使用実績は、令和2年に1件。



池田 義治

質問 1

AEDボックスに三角巾を配置せよ
三角巾とリーフレットを配備する

Q AEDに三角巾の配置は。

A 市民の安全・安心を向上する施策と考え、AEDに三角巾とリーフレットを配備する。

質問 2

公園の点検・補修は基準に基づき点検している

Q 公園の点検項目に汚れは含まれるか。

A 産業建設長 118の公園で基準に基づき点検している。

Q 汚れの項目は、規定されておらず対象外である。

A 公園の補修は。

遊具等の施設を毎年計画的に補修・更新している。

七塚中央公園の業者点検では、補修が必要な状況ではないとの



七塚中央公園

結果で、経過観察としている。しかし、遊具下のウレタン舗装の汚れや看板のささくれは、転倒やけがの恐れがあるため、早急に修繕を実施したい。

質問 3

道路等の問題箇所発見にスマホを活用しては準備中の防災アプリで運用したい

Q 道路の問題箇所発見の現状は。

A 市長 職員が定期的に巡回パトロールを実施している。

Q スマートフォン利用による市民投稿システムの導入は。

A 県は令和5年10月よりLINEアプリ「いしかわデジタル道路通報システム」を運用開始した。

県道以外でも市に連絡が届く。市でも、現在、準備中の防災アプリで、道路等の異常をいち早く通報できるシステムとして運用したい。



総合体育館(建設中)のLED照明

Q 地球温暖化防止は、市が率先的に取り組むことで、地域全体で対策に取り組む機運を高める大きな役割があるのではないかと考える。公共施設の省エネ化には、様々な温暖化対策がある。

その中でも照明設備のLED化については約70%のCO2が削減できることに加え、電力消



野田 稔彦

質問 1

公共施設のLED化は調査完了後、迅速に進める

費量も大幅に削減できることから電気代も安価となり、エネルギー価格の高騰への対策につながり、公共施設の維持管理費の低減が図れるのではないかとと思われる。

そこで、2050年ゼロカーボンシティ実現に向けて、効果的で相乗効果も見込める照明機器のLED化について問う。

A 市長 照明設備のLED化は改修に係る費用が比較的安価であり、エネルギー消費量の削減率も大きく、費用対効果が高いことなどから、優先的に取り組むべき事業であると考えている。

全ての公共施設のLED化の調査が完了次第、概算事業費を試算するとともに、温室効果ガスの削減量を算出し、その結

果を基に、施設照明のLED化について、時期を逸することなく迅速に進めていく。

質問 2

中学生の防災訓練参加について

地区で、防災訓練を企画し、中学生も参加するほうが、望ましい

Q 災害はいつ発生するか分かりません。

昼間は勤労者等が不在の中、基礎体力が備わっている中学生の力も欠かせない存在であり、地域の防災活動の担い手として重要な役割を果たすことができると考える。

地域全体の防災意識の向上にもつながり、防災団体と連携した防災訓練などを計画してみ



大崎地区防災訓練

かどうか。

A 教育長 各地区の自主防災組織が、防災訓練を企画し、その中で中学生にも役割を分担して実施するほうが、より身近で現実的なこととして捉えることができるのではないかと。学校運営協議会の場で、地域の防災訓練を議題にすることも非常に意義深いことと思われる。



いむら ひろやす
猪村 博靖

質問 1

油野市長は次期市長選に立候補するのか

これから市長として全力を尽くしたい

Q 油野市長が市長に就任した

1期目は、かほく市の礎となる総合計画を策定したほか、各中学校の改築や保育園の統廃合の着手など、市の基盤を固めた4年間であった。

現在の5期目まで安心して子育てができる環境づくり、高齢となっても住み慣れた地域で安心して暮らせ、そして災害にも



就任1期目に策定した総合計画

強い安全で安心して暮らせるまちづくりに積極的に取り組まれた。

12年前に3期目への立候補の意思を尋ねたときは、まだまだ道半ばであった「公共施設の統廃合を完成させるのが、初代市長となった油野市長の責務である。」と述べた。

任期満了に伴う次期かほく市長選挙において、油野市長に6期目への立候補の意思があるか。立候補の意思があれば、微力ながら応援もしていきたい。

もちろん議会人としての自分とは、きちんとわきまえ、時には辛口の物言い、提言もあろうかとは思いますが、互いに目指すところは同じである。

将来にわたって持続的に発展

するかほく市を確立するために協働したい。

私の期待に、そして3万6000人の市民の期待に沿うよう、油野市長の前向き明確な答弁を求める。

A 市長 市長としての責務を全うすべく、これまでの20年間、多岐にわたる課題に臨むことなく全力で挑んできた結果、財政状況の改善を図りながら、一歩ずつではあるが、着実に理想とするかほく市像に近づいてきたと考えている。

しかし、かほく市を取り巻く環境は依然として厳しい状況である。

少子高齢化社会の急速な進展や行政のデジタル化への対応、老朽化する都市基盤の長寿命化

に加え、SDGsの目標達成やゼロカーボンシティを目指す取組など、課題が山積している。

これから、かほく市として、将来にわたって持続的に発展していくための重要な局面を迎えていると考えている。

このような局面を迎えている今、議員、そして市民の支持をいま一度いただけるのであれば、引き続き、様々な課題に真正面から立ち向かい、さらに魅力あふれるまちづくりを推し進める役割を務めさせていただきたい。

市民が住みよさを実感できる、これからも住み続けたいと思えるかほく市、そして市民が誇りを持てる元気なかほく市の表現のため、初心を忘れることなく全力を尽くす覚悟である。

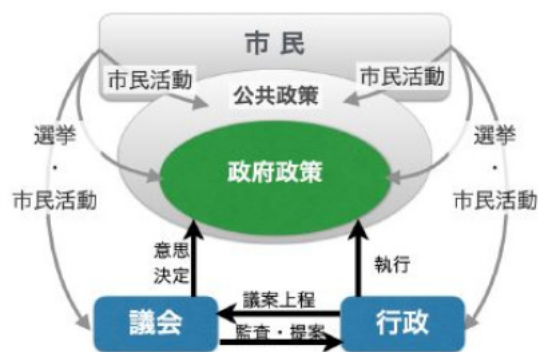
【質問力で高める

議員力・議会力】
予算決算常任委員会

12月20日、法政大学法学部教授の土山希美枝氏を講師に迎え「質問力で高める議員力・議会力」をテーマに研修会を開催した。

まず、議会の役割とは、執行機関（自治体）が提出する議案について、意思決定（議決）により、執行機関を間接的に制御し、政策や制度をよりよく整備することであり、議会が政策などの責任主体として、よりよい制御方法の構築に取り組む在り方を「政策議会」と表現されていた。

政策議会にとって重要なものは、政策などに関する課題（政策課題）であり、自分たちが住む街にどんな課題があるのかを、議会という場を通じて提起し、市民・執行機関と共有すること



議会の役割（執行機関への制御）

が、重要な役割である。多様で異なる価値観や利害を持つ市民の声を反映し、よりよい意思決定（議決）をしていくことが、市民にとって有益なことであり、執行機関に対して行う制御の過程や成果を、市民の方にアピールすることで、議会への理解も得られるのではないかとのことであった。

政策課題は、市民の方からの声である請願や陳情、各議員が活動を通じて、課題など拾い上げて行う一般質問の他、執行機

関が行う各事務事業の行政評価や総合計画などから提起されるものである。

一般質問とは、議案となっていないことでも、議員が所属する委員会の所管事項でないことでも、質問や自由な意見を述べることができ、それに対しての執行機関の公式な見解を求めることができるものである。

政策課題の提起や執行機関を制御するものにもなり得るが、現状では、十分に機能しているとは言えず、残念な質問・もっていない質問となっている場合も多い。

一般質問の内容が政策課題にどう繋がっているのかを明確にし、執行機関と問題意識を共有することや、しっかりとした調査に基づく数値により、事実を確認することなどにより、執行機関との噛み合わないやりとりや論点が曖昧になることなどは解消できる。



対話形式での質疑応答

基本的なことではあるが、それらをブラッシュアップしていくことにより、各議員の議論や政策課題を発掘する力などの政策提言能力を伸ばし、議会全体としても、執行機関に対しての監査や政策提案機能の強化となる研修となった。

また、各議員の一般質問を議会全体の政策課題として取り組む仕組みの構築についても、今後とりくむべき重要な課題であると再認識した。

総務 建設 常任 委員会

合葬墓の使用料決定

おもな審査内容

◎墓地条例の全部改正

合葬墓に係る使用料や管理・運営事項などを定めるため、現行の条例の全部を改正するもの。

池田副委員長

合葬墓の記名板は、10年後、20年後はどうなるのか。

総務課長

合葬墓で永年埋葬されるため、永久的に掲示する。

◎行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正

生活に困窮する外国人に対する生活保護の措置に関する事務において、個人番号を利用した資格確認を行うため、所要の改正を行うもの。

◎火災予防条例の一部改正

対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部改正に伴い、蓄電池設備の位置、構造及び管理の基準並びに固体燃料を用いた火気設備の離隔距離の見直しを行うため、所要の改正を行うもの。

離の見直しを行うため、所要の改正を行うもの。

中川委員

市内の蓄電池設備の状況は、予防課長

携帯電話の基地局やNTTの電話交換局といった容量の大きな蓄電設備が設置されている。

◎公の施設の指定管理者の指定

大海交流センター及びびぎわい創出施設「つどいの森 かほつくるプラス」の指定管理者を指定するもの。

◎字の区域及び小字の名称変更

気屋地区の県営は場整備事業の完成に伴い、字の区域及び小字の名称を変更することについて、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるもの。



市道高松171号線

◎市道の路線認定
高松市宮町地内における民間の宅地造成事業において築造した道路を市道高松171号線として新たに認定するもの。

総務建設常任委員会

委員長
副委員長
委員

野田 稔彦
池田 義治
寺内 照雄
竹内 幹雄
丸井 一範
塚本 佐和子
中川 康弘

常任委員会レポート

地域 文教 常任 委員会

スマホで印鑑登録証明書の取得可能に

おもな審査内容

◎印鑑条例の一部改正

電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部改正に伴い、コンビニエンスストア等の多機能端末機における印鑑登録証明書の交付について、従来のマイナンバーカードを利用する方法



コンビニ交付サービスの利用イメージ

に加え、スマートフォンに搭載された電子証明書の利用により、交付を受けることができるよう、所要の改正を行うもの。

高橋委員

スマートフォンのアプリが必要なのか。

市民生活課長

各自でアプリをダウンロードしていただいて、電子申請していただく。

金子委員

アイフォーンは対応しているか。

市民生活課長

アンドロイドは対応しているが、アイフォーンの対応は未定。

◎ごも屋内運動施設条例の一部改正

ごも屋内運動施設として設置した「あそびの森 かほつくる

坂井委員

市外の人も同じ料金か。企画振興課長

*コワーキングスペース 事務所スペース、会議室などを共有しながら独立した仕事を行う共働ワークスタイル



つどいの森 かほつくるプラス外観イメージ

地域文教常任委員会

委員長
副委員長
委員

大西 潤
長柄 裕
猪村 博靖
杉本 正一
高橋 成典
坂井 正毅
金子 猛

予算決算常任委員会

定例会初日の11月28日に説明を受け、質疑を経て各議案の詳細な審査を分科会で、12月12日に両分科会での審査内容の報告を受け、採決を行った。

総務建設分科会

12月7日開催

おもな質疑

塚本委員

入札システムの改修時期は。

総務部長

令和6年度予算を待たずに、令和5年度中に着手したい。

塚本委員

ふるさと納税の返礼品で伸びているものは。

総務課長

スキヤナーが好調で、全体に占める割合が金額ベースで、令

総務建設分科会

入札システムの改修費を計上

地域文教分科会

こども家庭センターを設置

中川委員

旧緑ヶ丘保育園の解体費用2800万円は高すぎないか。

総務課長

6月補正後に、解体撤去費用に関する積算を委託し、工事費用を算出したものである。解体費は以前と比べ、かなり高くなっている。



うみっこらんど七塚 キャンプ場

金子委員
ふるさと納税の返礼品として、例えばゴルフ場やキャンプ場の利用や催し物の体験など宿泊をセットにしたものはどうか。

総務課長

物品だけではなく、体験型の返礼品も検討していく。

総務建設分科会 審査案件

内容	主な内容	内容
専決処分 令和5年度 一般会計補正予算(第9号)	・ 電子入札システムの改修 ・ 低所得世帯物価高騰対策支援給付金 ・ 内高松地内のポンプ場の揚水機改修に伴う補助金 など	・ 令和5年度 一般会計補正予算(第10号)
令和5年度 一般会計補正予算(第10号)	・ 令和5年度の実績見込みや人件費などを補正	令和5年度 下水道事業会計補正予算(第1号)
令和5年度 下水道事業会計補正予算(第1号)	・ 令和5年度の実績見込みや人件費などを補正	

令和5年度 一般会計補正予算(第9号)
令和5年度 一般会計補正予算(第10号)
令和5年度 下水道事業会計補正予算(第3号)

地域文教分科会

12月8日開催

おもな質疑

高橋委員

子ども総合センターなどを改修して設置する「こども家庭センター」への専門職員の配置は。

こども家庭課長

社会福祉士、保育士、保健師、心理士の専門職員を配置する予定である。

*こども家庭センター 全ての妊産婦、子育て世帯、子どもの一体的な相談支援を行う機能を有する機関



子ども総合センター

高橋委員

豪雨により被害を受けた市内事業者の再建を支援する補助金の申請件数は。

企画振興課長

石川県への申請が4件であるため、市の申請も4件になる見込みである。

坂井委員

小学校新1年生のタブレット端末は、これまでと同じ機種になるのか。

学校教育課長

中学3年生が使用している端末を回収し、再使用してもらう。不足分は基本的に同じ機種を追加で購入する。

高橋委員

タブレット端末の買い替えはいつになるのか。

学校教育課長

耐用年数は4年だが、4年たつたらすぐに使えなくなるわけではない。他市町や石川県と歩調を合わせて、更新していく。

杉本正一委員

見本市等出展事業費補助金は見本市の出展に伴う会場費が補助の対象か。

企画振興課長

会場費の2分の1を補助する。

高橋委員

国民健康保険制度の一本化は。

保険医療課長

後期高齢者医療は、石川県で一本化しているが、国民健康保

険は一本化になっていない。

高橋委員

国民健康保険の基金残高は。

保険医療課長

令和5年度当初の残高は、約1億円だが、保険料の急激な高騰を避けるために、約3700万円を取り崩す。

予算決算常任委員会

委員長 金子 猛
副委員長 中川 康弘
委員 議長を除く12名

地域文教分科会 審査案件

内容	主な内容	内容
専決処分 令和5年度 一般会計補正予算(第8号)	・ 妊婦、高校生以下の子のインフルエンザ予防接種費用助成	令和5年度 一般会計補正予算(第8号)
令和5年度 一般会計補正予算(第8号)	・ 豪雨により被災した市内事業者の再建を支援する補助金	令和5年度 一般会計補正予算(第10号)
令和5年度 一般会計補正予算(第10号)	・ 子育てに関する支援を行うこども家庭センターの整備 ・ 外日角小学校のクラス増に伴うネットワーク整備費 など	令和5年度 一般会計補正予算(第1号)
令和5年度 一般会計補正予算(第1号)	・ 令和5年度の実績見込みや人件費などを補正	

広報特別委員会

11月8日～9日

議会だよりについて

(愛知県東浦町)

東浦町では、議会広報特別委員会の委員の方6名全員に出席していただき、議会だよりの制作編集について、詳細な説明がありました。

「議会だよりひがしうらNo.210」は、第37回町村議会広報全国コンクールの編集・デザイン部門で「奨励賞」を受賞しております。

議会だより改革の一步として、愛知県が開催する「議会だより広報クリニック診断」を受け、継続して課題を把握し、改善を図っているとのことでした。

また、読める・分かる・つながるを目的とする「取材マニュアル」を作成することで、記事の質を高め、効率的な編集を行う

ていました。

他にも、委員が2人1組となる担当制の導入や誰もが読みやすいユニバーサルフォントの活用、必要がない閉じ穴の廃止による年間20万円のコスト削減など、様々な取り組みが行われておりました。

表紙写真に住民を多く登場させたり、住民の意見やアンケート調査を実施するなど、住民目線で制作されており、非常に勉強になりました。



説明を聞く広報委員

議会だより「よむギカイ」について

(三重県いなべ市)

いなべ市では、広報特別委員長と議会事務局から丁寧な説明を受けました。

議会だよりを「よむギカイ」として、目を引くタイトルを付けており、また、表紙写真は住民参加型とし、フォトコンテスト入賞者、または絵画コンクール入賞者の方の作品を掲載しております。

編集については、中学生が読める議会だよりを目指し、東浦町議会の取り組みと同じく、ユニバーサルフォントの活用や、閉じ穴の廃止が行われていました。

また、内容が把握しやすいインデックスの掲載、図書カードがあたるクイズキャンペーン、紙ベースだけでなくSNS（フェイスブック・インスタグラム・X）への投稿なども積極的に行っ



いなべ市議会だより

本号より、次のとおり改善しました。
・ユニバーサルフォント採用
・インデックスの掲載

ているとのこと、今後は、広報紙だけでなく広聴活動にも力を入れていくとのことでありました。
視察研修後、委員全員の意見を集約したところ、今回の視察研修で学んだことを取り入れ、改革しないと視察に行った意味がないという意見もありました。
多くの市民の方に読んでもらえるよう改善に取り組み、より親しみやすい議会だよりとするよう努力してまいります。

議会改革の取組について

議会運営委員会

11月15日～16日

(東京都墨田区)

墨田区におけるこれまでの主な議会改革の取り組みについて、説明を受け、活発に意見交換を行いました。

まず、墨田区では「開かれた議会」と「議会活動の活性化」の二本柱を基本に、議会改革を進めていました。

二本柱の一つ目「開かれた議会」への取り組みとしては、基



活発な意見交換の様子

本条例中に議事堂以外の場所で開催できる規定を設けたほか、区民との意見交換会の開催、請願及び陳情の審議に提出者の意見を聴取する場を設ける規定を盛り込んだとの説明がありました。

区民との意見交換会では対面型の議会報告会だけではなく、グループワークを取り入れておりました。

次に、二つ目の「議会活動の活性化」についての取り組みとしては、委員会において、会派を超えた委員相互間の議論をするよう、討議による合意形成を図り、論点や争点を整理して議会運営を行わなければならないとする規定を設けていました。

議会運営に関する実務的なことについて議会事務局と意見交換しながら、「開かれた議会」、「議会活動の活性化」の実現を目指し積極的に取り組んでおりました。

議会改革の取組について

(東京都町田市)

町田市がこれまで行ってきた議会改革の取り組みは、あえて議会基本条例の制定はせずに、傍聴人受付簿の廃止や全員協議会、議案説明会の公開、議会独自のホームページの開設、インターネットによる議会中継の開始など先進的に進めていました。

また、全委員に行政視察の報告文の作成を義務化したほか、「議案のカルテ」をホームページ上に掲載しておりました。

「議案のカルテ」とは、議案ごとの審議・審査の状況が一目



町田市議会にて

でわかるよう表にまとめたものであり、いち早く市民に議会の審議・審査内容を報告するため作成したとのことでありました。

この取り組みは、令和2年の第15回マニフェスト大賞において、コミュニケーション戦略賞の最優秀賞を受賞しております。各常任委員会による市民団体等との懇談会も活発に行っており、懇談会での話し合いを受けて委員会が議案を提出したケースもありました。

両議会の議会改革の取り組みは、積極的な情報公開等を率先して行い、より一層、開かれた議会の実現を図るなど、市民の皆様に信頼される議会運営の取り組みについて見習うべきことも多く、さらなる議会改革を重ねながら、市民の負託に応えていく決意をあらたに致しました。